

講社通信

コロナ禍の祭典行事・新年

コロナ禍の拡大するなかで、四月の例祭・六月の漏刻祭などに続いて八月以降の祭典でも参列者を最小限にとどめることになり、八月の献書祭は特別賞受賞者だけにご案内し、神前揮毫は上位賞受賞の八名のみ、弘文天皇祭は御製漢詩の奉唱はとりやめ、御鎮座記念祭は八十周年の節目の年にもかかわらず、献華・式包丁なし、天智天皇伝説ゆかりの「むべ」は事前に拝受して献供し、祭典中の奉献行事はとりやめ、初穂講大祭はJA中央会会長（初穂講本部長）の祭文奏上のみとして各地区のJA役員のご奉仕は中止とさせていたできました。

観光客を含む参拝者については九月ころからいくらか回復傾向が見えていましたが、十一月ころの人出はここ数年に比べるとかなり少なく見受けました。

各地のかるた大会は三月から九月までほぼすべてが中止になっていましたが、一月の高松宮記念杯競技かるた大会は参加人数を制限して十一月から二月の間に級別に少しづつ行うことになり、名人位クイン位決定戦は何とか挑戦者の予選も行われ、無観客または大幅な人数制限しつつも開催の運びになっています。

他の神社と同様、正月の混雑が心配され、例年の正月とは違った様子になるかもしれません、可能な限りの対



近江神宮日供神饌講
新版第三十八号
令和二年十二月十日

策をさせていただき、何とか初詣にお越しの皆様のお気持ちにお応えしたいと考えています。

このところ再び感染者が増加傾向にあり、冬に入るとさらに増加することが懸念されていますが、ワクチンの接種も可能になりつつあるともいわれ何とか普通の生活を取り戻すことができよう、また産業経済が安定するよう、お祈り申し上げます。

近江神宮御鎮座八十周年古写真展

昭和十五年十一月七日に御鎮座となつた近江神宮は、本年十一月七日をもつて八十周年を迎えました。八十周年

の御鎮座記念祭は上記のとおりで篤志の方二十余名のご参列による最小限の祭典となりましたが、記念行事の一環としてご創建当時また初期の様子を撮した古写真展「近江神宮ご創建のころ」を九月中旬から開催しています。ご創建工事、御鎮座奉祝行事、御鎮座当時の境内の様子や戦中戦後の祭典行事など、昭和三十年ころまでの写真を中心に、創建当初の絵はがき、資料なども展示しています。



時計館宝物館で一月三十一日まで開催、時計館宝物館常設入館料三百円です。この機会に御鎮座間もないころを振り返っていただければと思います。



社務所保存修理工事

御鎮座から八十年となり、山麓斜面の造成地に建設されているため社務所の建物のゆがみなどが目立つようになり、「登録有形文化財近江神宮社務所保存修理工事」として改修工事を行うことになりました。

そのため工事期間中、従来衣裳部として使っていた参集所を臨時社務所とすることになり、八月末から移転しています。衣裳部については社務所と勸学館との間の仮設の建物に移転しています。社務所へのご用の皆様、また衣裳部ご利用の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解、ご了承いただきまますよう、お願い申し上げます。なお、工事期間は九月一日から来年令和三年十一月までの予定です。



節分の日取り

節分とは季節を分ける日の意味で、元来は立春・立夏・立秋・立冬の各前日をいいますが、立春は季節の変わり目であるとともに、旧暦では新年の基準点でもあったため特別なものとなり、立春の前日だけを特に指すことになりました。

本年まで長らく立春が二月四日で節分は三日でしたが、来年は立春が三日、節分は二日となり、その後は閏年の翌年は二日が節分で、それ以外は三日となり、当分の間そのようにして続きます。西暦二〇〇〇年が近づくと閏年だけが三日で他は二日となり、二一〇〇年が閏年でないことよって元の循環に戻り、再び三日または四日が

通常の節分となります。

太陽暦では太陽の運行と暦の一年の誤差のため四年に一度閏を置き、四年間の日数を一四六一日としますが、それでも若干の誤差が出るため、グレゴリオ暦では四〇〇年に三回閏日を省くことになっています。西暦二〇〇〇年は閏年でしたが、二一〇〇年、二二〇〇年、二三〇〇年、また一九〇〇年などは閏年ではありません。

年末年始の祭典等

十二月十三日午前九時	門松立て
十二月二十日午前九時	煤払祭
十二月三十一日午後三時	年越大祓式（続いて）除夜祭
一月一日午前〇時	歳旦祭（さいたんさい）
一月一日午前七時二分	日の出遥拝式
一月二日午前八時三十分	日供始祭（につくはじめさい）
一月三日午前八時三十分	元始祭（げんしさい）
一月七日午前九時	昭和天皇祭遙拝式
一月九日午前十時	かるた名人位クイーン位決定戦
一月十日午前八時三十分	天智天皇祭（天智天皇のご命日）
一月十日午前九時	かるた祭
一月十・十一日ほか	高松宮記念杯全国競技かるた大会
一月十五日午前十時	古神札焼納祭
二月二日午前十時	節分祭
二月十一日午前十時	紀元節祭
二月二十三日午前十時	天長節祭・律令祭

講社通信は近江神宮ホームページでカラーで見られます。

<http://www.oumi-jingu.org/>「日供神饌講」ページ